

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-159	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
177 増進堂	コ I 348	MAINSTREAM English Communication I Second Edition		

### 1. 編修の趣旨及び留意点

比較的英語力がある生徒を対象に、学習指導要領に即して「生徒のためになる英語教育」を実現することができる教科書にするために、次の4点に配慮して編修した。

- ① 4技能をバランスよく伸ばし、話し手や書き手の意図を理解するだけでなく、それに対する自分の考えを発表できるようにするための教材と課題を数多く用意して、コミュニケーション能力を伸ばせるように構成すること。
- ② 生徒が新しいことを学び、学んだことをさらに深く掘り下げて考え、英語に対する興味・関心を持つことができる豊かな内容を持つ教材を提供すること。
- ③ 生徒の立場に立った学びやすい教科書、学び方を学べる教科書にすること。
- ④ 生徒が題材に興味・関心を持つように視覚的に工夫すること。

### 2. 編修の基本方針

編纂に際しては、次の4点を基本方針とした。

- ① 学習指導要領並びに教育基本法第2条第1号から第5号の各号に書かれた目標を実現できるように、素材を厳選するとともに、各素材にその目標を達成するために有効な課題を用意すること。
- ② 生徒の多様な実態に応じて、弾力的な指導や学習ができるように、教科書と付属教材の両方に様々な工夫を盛り込み、教科書と付属教材との併用でも、また教科書のみでも、効果的な指導や学習が可能ないように構成すること。
- ③ 本教科書を用いて指導しながら、多忙な教員でも、新しい指導法や指導技術を学ぶことができる「教師も学べる教科書」にすること。
- ④ ①～③のために、編著者たちのこれまでの多様な英語教育実践と英語教育研究の成果を適切に盛り込み、指導書等で詳しく解説すること。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Chapter 2 教科書本文	スポーツという、日常的に身の回りにある身近なものから、その起源の奥深さを学ばせると同時に、生徒自身の興味を喚起し、スポーツに慣れ親しむ心を育てようとした。(第1号)	19頁～23頁
Chapter 3 教科書本文	日本の伝統文化、風呂敷と和紙の歴史と技術について、その存在価値を再認識させるとともに、その多様性についての可能性を考えさせようとした。(第5号)	31頁～37頁
Chapter 4 教科書本文	サンゴの移植活動に取り組んでいる金城浩二氏の、心身を労して取り組む姿勢を読み取らせようとした。(第2号)	46頁～51頁
Chapter 4 Activity	サンゴの移植活動に取り組んでいる金城浩二氏の取り組みを紹介した文章を通して環境保全の重要性を認識させるとともに、環境保全のために個人として何ができるかを考えさせようとしている。(第4号)	56頁11行目～25行目
Optional Reading 1	少年ビリーの子鹿に対する純粋な行動で、善を行おうとする心を学ばせ、それと同時に母親の息子に対する愛情から、情	59頁～61頁

教科書本文	感豊かな心を育ませようとした。(第1号)	
Chapter 5 教科書本文	マザーテレサの無償の愛や正義・平等の心について読み取らせ、一個人が与える社会に対する影響力を読み取らせようとした。(第3号)	63 頁～69 頁
Chapter 6 教科書本文	レオナルド・ダ・ヴィンチの才能や好奇心について触れさせ、彼自身の人間としての価値を尊重させ、同時に豊かな創造性を学ばせようとした。(第2号)	76 頁～83 頁
Chapter 7 教科書本文	真理を求める態度と発想の大切さと、堅苦しい論説ではなく、川島隆太(東北大学教授)の大学院生時代のエピソードと研究結果を通して伝えようとしている。(第1号)	90 頁～97 頁
Chapter 8 教科書本文	日本とアメリカの社会的行動の違いを学び、より他国への関心を高める精神を養うことができるように設定した。(第5号)	104 頁～109 頁
Chapter 10 教科書本文	手塚治虫氏の「人間とはすばらしい生き物だ」という率直なメッセージと戦争体験を綴った文章を通して、高校生たちに命の大切さを考えさせようとした。(第4号)	142 頁～149 頁

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

生徒にとって学びやすく、学び方も学ぶことができる教科書、教職経験が少ない教員でも一定レベル以上の指導が可能で、新しい指導法を学べる教科書を目指して、次のような工夫をした。

- ① 英語学習の基本と考えられる発音、フレーズリーディングの方法などを明示し、それらを用いて全 Chapter を学習できるようにした。
- ② 生徒が予習をする際、最低限何をすればよいかを明らかにした。  
本課の各パートでは、大まかな内容についての質問、細部についての質問などで、予習すべきポイントを明らかにした。
- ③ 本文をよりスムーズに学習できるようにした。  
文法事項は、各 Chapter の学習前に Target Grammar として、学ぶべき文法項目がどのようなものであるか本文を読む前に意識できる工夫をした。
- ④ スムーズな学習の流れとなるように工夫をした。  
難し過ぎると思われる語句や頻度が低い語句には注をつけ、同時にその語に\*を付記することで、すぐに脚注で確認できるように工夫をした。連語については、その意味を把握するのに助けとなるように、できるだけ状況が明確な例文などを臨機応変につけた。
- ⑤ 復習の方法を明らかにした。  
Comprehension では A では、本文全体の理解度を問う設問を設置し、再度本文全文を読むことで、再度各 Chapter の意味内容を把握できるよう工夫した。また、B では、Summary を完成させることで、本文の理解を段階的にはかることができる構成とした。
- ⑥ Vocabulary では、英語での表現力を広げ、より語彙力がつくように工夫した。また、Sound Training を入れることにより、音声面でもスキルアップができるように工夫した。
- ⑦ Grammar, Exercises での工夫  
指示文を英語にし、初出の表現には日本語を併記し、理解の助けとなるように工夫をした。設問ではクローズなものとおープンの設問を作成し、学んだ文法項目を使って、英文作成ができるようにした。また、作成した英文をクラスメートなどと意見を共有させる活動ができるよう工夫した。
- ⑧ Activity での工夫  
各 Chapter で学んだことに対して、より発展的に学習を深められるような設問とした。また、4 技能を適宜取り入れ、効率よくスキルをのばすことができるよう設問の並びを考え、無理なく学習に取り組むことができるよう、設問は日本語にした。また、より現実に即したコミュニケーションがとれるように指示文も工夫した。
- ⑨ Optional Reading での工夫  
リーディングの能力を伸ばすことと、読書本来の「楽しさ」を生徒に経験してもらうために、本課の英文よりも平易で、おもしろく、感動的なものを厳選して Optional Reading として 3 編用意した。

長編を短縮した場合は、場面をつなぐ英文を入れ、適宜注釈を付すなど、生徒が先を予想しながら読めるように工夫した。

⑩ 生徒の多様な実態に応じて弾力的な使用ができるように配慮した。

各 Chapter の本文の指導は、付属教材に、フレーズリーディングが可能になるワークシートや、リスニングや音声をペースメーカーにしてリスニングしながら黙読する練習が行えるよう、本文を普通に朗読した音声教材と、フレーズリーディングのためのワークシートに入れられたスラッシュと同じ箇所にポーズ置いて朗読した音声教材の両方を用意している。また、Optional Reading は授業時間が不足した場合に、生徒の自学自習用教材として活用できるように配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-159	高等学校	外国語	コミュニケーション英語 I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
177 増進堂	コ I 348	MAINSTREAM English Communication I Second Edition		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

生徒にとって学びやすく、学び方も学ぶことができる教科書、教職経験が少ない教員でも一定レベル以上の指導が可能で、新しい指導法を学べる教科書を目指して、次のような工夫をした。

◆ 本文をよりスムーズに学習できるようにした。

文法事項は、各 Chapter の学習前に Target Grammar として、学ぶべき文法項目がどのようなものであるか本文を読む前に意識できる工夫をした。

◆ 復習の方法を明らかにした。

Comprehension では A では、本文全体の理解度を問う設問を設置し、再度本文全文を読むことで、再度各 Chapter の意味内容を把握できるよう工夫した。また、B では、Summary を完成させることで、本文の理解を段階的にはかることができる構成とした。

◆ Grammar, Exercises での工夫

指示文を英語にし、初出の表現には日本語を併記し、理解の助けとなるように工夫をした。設問ではクローズなものとおープンの設問を作成し、学んだ文法項目を使って、英文作成ができるようにした。また、作成した英文をクラスメートなどと意見を共有させる活動ができるよう工夫した。

◆ Activity での工夫

各 Chapter で学んだことに対して、より発展的に学習を深められるような設問とした。また、4 技能を適宜取り入れ、効率よくスキルをのばすことができるよう設問の並びを考え、無理なく学習に取り組むことができるよう、設問は日本語にした。また、より現実に即したコミュニケーションがとれるように指示文も工夫した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容 第 2 款第 2 コミュニケーション英語 I 2 内容, 3 内容の取扱い	該当箇所	配当 時数
発音記号の解説、英語の語順、フレーズリーディング、図表を使った英文の理解	2(2)ア, イ	2-3,17,29 頁	1
Chapter 1 Warm-up / Target Grammar Part 1-3 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	6 頁 7-11 頁 12 頁 13 頁 14-15 頁 16 頁	5
Chapter 2 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	18 頁 19-23 頁 24 頁 25 頁 26-27 頁 28 頁	7
Chapter 3 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	30 頁 31-37 頁 38 頁 39 頁 40-41 頁 42 頁	7

音読で英語力を伸ばそう	2(2)ア	43 頁	※
Chapter 4 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	44 頁 46-51 頁 52 頁 53 頁 54-55 頁 56 頁	6
You've Got a Friend	2(2)ア	57 頁	※
Optional R. 1	2(1)ア, イ	58-61 頁	4
Chapter 5 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	62 頁 63-69 頁 70 頁 71 頁 72-73 頁 74 頁	8
Chapter 6 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	75 頁 76-83 頁 84 頁 85 頁 86-87 頁 88 頁	8
Chapter 7 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	89 頁 90-97 頁 98 頁 99 頁 100-101 頁 102 頁	8
Chapter 8 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	103 頁 104-109 頁 110 頁 111 頁 112-113 頁 114 頁	8
Optional R. 2	2(1)ア, イ	115-125 頁	6
ディスコースマーカーとは	2(2)イ	126 頁	※
Chapter 9 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	127 頁 128-135 頁 136 頁 137 頁 138-139 頁 140 頁	8
Chapter 10 Warm-up / Target Grammar Part 1-4 Comprehension Vocabulary / Sound Training Grammar / Exercises Activity	2(1)ア 2(1)ア, イ, ウ 2(1)ウ 2(2)ア, イ 2(1)ウ, エ 2(1)ウ, エ 2(2)ウ 3(1),(2)	141 頁 142-149 頁 150 頁 151 頁 152-153 頁 154 頁	8
Optional R. 3	2(1)ア, イ	155-163 頁	6
ディスコースマーカー一覧	2(2)イ	164 頁	※
分野別 Hot Topics		166-171 頁	※
		計	90

※は各学校で弾力的運営を想定している。